

# 平成30年度回復期病床整備促進事業

保健福祉部医療局医療政策課  
医療計画G(内線3124)

地域医療介護総合確保基金を活用し、効率的かつ質の高い医療提供体制の構築に向け、急性期病床等から回復期病床への転換を支援することで、将来不足すると推計される回復期病床の充実を図ります。

## 事業概要

- 1 目的  
在宅復帰の支援やリハビリを行う回復期病床の整備促進補助対象
- 2 医療機関が行う回復期病床の増に係る新築・増築・改修経費補助額
- 3 3,214千円/床×1/2

## 茨城県の現状

○ 2016年度病床機能報告制度の集計結果

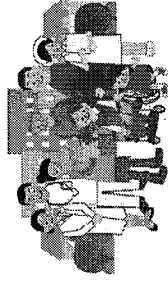
高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中等
5.5%	56.0%	8.2%	25.8%	4.5%

※病院のみ

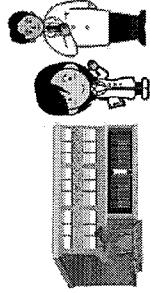
○ 2025年の回復期病床の必要割合:約33%

※推計値

**回復期病床の充実が急務の課題**

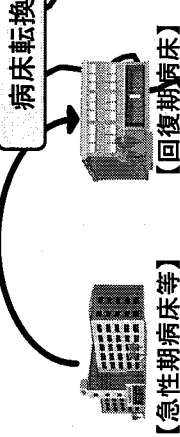


地域にふさわしい  
医療提供体制の  
構築



## 回復期病床への転換の促進

● 現状でも不足している回復期病床への転換を推進するための施設・設備整備を支援



● 医療機能の分化・連携により、医療提供体制の充実を図る

<イメージ>

【高度急性期】

【有床診療所】

【急性期】

【回復期】

【慢性期】

【在宅等】

【病所】